

東広島市立認定こども園くば

子どもと保護者と一緒に取り組んだ園庭づくり、 室内の環境作りで、こどもたちの遊びが広がりました

保育環境づくりのポイント

保護者ととも園庭の整備をし、保育参加で子どもと保護者、職員が一体となって園庭で使う椅子やベンチ作り、花壇づくり、畑の枠作り、戸棚をリサイクルしままごとで使うキャストの保護剤塗り等を作りました。園外の自然環境にも目を向け、園の上にある小さな森の開拓も始めています。また室内での保育環境作りにも取り組み、子ども主体の保育の実践を行いました。

～こどもたちのこの力を育みたい～

- ☑感じる・気付く力
- ☑うごく力
- ☑考える力
- ☑やりぬく力
- ☑人とかかわる力

取組み内容

環境整備

6月の環境整備では保護者の皆様に丸太を埋めて丸太渡りを作っていただきました。丸太渡りを楽しむ子ども達！おうちの人が作ってくれた手作りの遊具に大喜びです。花壇を作るため砂利も移動。フレックコンポーネントさんから頂いたシートを除草シートに再利用。除草作業の回数も減り子ども遊ぶ時間が増えました！



保育参加ワークショップ



室内の環境作り

ままごと遊びが充実→

今年度は室内の保育環境作りにも目を向け、子ども達が好きな時に使いたい道具でつくりたいものを作れるように時間と空間を整えました。幼児組は廃材遊びが展開していき、保育参観では『冬まつり』でお店屋さんごっこをすること決定！乳児組は安全な運動遊びや商品や100円ショップで売っている材料を使った作ったシステムキッチンが好評！ごっこ遊びが充実してきました。



お店屋さんごっこの作戦会議 『太鼓の〇人』作るよ！ <〇ずしではな『くばずし』

7月には保育参加で保育環境作りのワークショップを行いました！子ども達が作りたいもの、やりたいたいものを選び、家族一緒に園庭で使う道具作りをしました。リサイクルのキャストはままごとで使う冷蔵庫やシステムキッチンに。フレックコンポーネントさんから頂いた端材はベンチや椅子や畑の木枠に。いつでも使える花を植える花壇も作りました。園の裏山の竹を伐採した時の竹の枝で子ども用の竹ぼうきも作りました。園外保育活動やままごと遊びにも大活躍で遊びがどんどん展開しました。

森のこども園づくり



今年度は自然体験活動アドバイザーの先生に来ていただいて、自然の中で遊ぶ遊び方をたくさん教えていただきました。園周辺には豊かな自然環境があることに改めて気づき、こども園の上にある小さな森を第2の遊び場、生活の場にしてと整備中です。来年度はここでひと月に1日でも、「1日森のこども園」を開けるといいなと考えています。

<今回の取組みを通して> 子どもと保護者と園と一緒に取り組むことで、保護者に「遊びが学び」ということを理解していただくよいきっかけになりました。遊びの環境を整えることで、子ども達が自分のやりたい遊びをイメージ豊かに創造し5つの力をしっかり使いながら子どもが自ら主体的に、とことん遊びこめるようになりました。

認定こども園くば 職員一同